

「白鳥通信」 第44号 令和3年3月19日（金）

春休みを前に

世界は今新型コロナウイルスに翻弄されています。ワクチン接種が医療関係者時間が明かるい光が見えてきました。前途に世界は新型コロナとどう向き合つていけばよいのか。感染防止と経済活動の両立を立てる目指すのか、見通しが立たないのが実情です。東京オリンピックは無観客実施が示されましたが、コロナ禍ではあります。コロナが終息になりましたが、時代が進みます。この間、新しい価値な生値な

活のあり方を模索する人も出てきています。
筆者の学生時代は、「高度経済成長」の時代でした。しかし、今は「下山の時代」とも言われています。前者は前だけ見て目標の世界は、頂上に向かって、がむしゃらに生きれば、収入も年々向上し安定してきました。後者は登山と異なり、エネルギーも体重のかけ方違います。下山には、登山と異なる価値があります。ゆったりとした時間の中、違うところを見つめたり、近景・遠景を眺めたり、人生を観照できる喜びを感じることができます。どちらで近景・遠景を眺めたり、中で人生を観照できることができます。びっくりするほどたくさんの機会が増えました。

- 語彙力チェック
①「もうこれで精一杯だ」という気持ちを表す「口の山」の口に入る語は次のどれか。
A針 B峰 C波 D閑
- ②ひつそりとして、もの寂しい様子を表す言葉「セキバク」は次のどれか。
A惜漠 B石薄 C寂莫 D躊躇
- ③「貧乏で何もない様子」を言う言葉は次のどれか。
A赤貧 B清貧 C誠貧 D惜貧
- ④表面だけ上手く取りつくろつて体面を保つことを「何をつくろう」というのか、次の中から選べ。
A表面体 B世間体 C外面体
- ⑤「世故」に続く言葉は、どれか。
Aにじょうずる Bをさぐる Cにたける
- ⑥「雪月花」は何の総称として用いられるか、次の中から選べ。
A四季 B京料理 C自然料理
- (解答) ①D ②C ③A ④B ⑤C ⑥A